

# 今こそ「ことば」の力を！

## 昭和女子大学 人間文化学部 日本語日本文学科 2022案内

SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY 2022  
DEPARTMENT OF JAPANESE LANGUAGE AND LITERATURE



人とつながる、社会を動かす、アイデアをかたちにする

SWU  
1920 → 2120  
PAST  
NEXT  
100  
日文

- 1920年 大正9年 ● 詩人・人見園吉ほか有志4名が私塾「日本女子高等学院」創立  
文学科を設ける
- 1922年 大正11年 ● 私立学校「日本女子高等学院」に昇格  
専攻部に文学科を置く
- 1927年 昭和2年 ● 財団法人日本女子高等学院を設立  
専攻部を「日本女子高等学院本科」と改める
- 1946年 昭和21年 ● 財団法人東邦学園を設立し、これを母体とする「日本女子専門学校」を設置  
日本女子高等学院本科の課程を日本女子専門学校に引き継ぐ
- 1949年 昭和24年 ● 新学制によって日本女子専門学校を「昭和女子大学」に改める  
学芸学部国文学科を設ける
- 1951年 昭和26年 ● 財団法人東邦学園を「学校法人昭和女子大学」と改める
- 1953年 昭和28年 ● 学芸学部を文家政学部に変更  
国文科を日本文学科と改める
- 1978年 昭和53年 ● 文家政学部を文学部と家政学部に分離
- 2003年 平成15年 ● 文学部を人間文化学部に変更  
日本文学科を日本語日本文学科に変更
- 2020年 令和2年 ● 日本語日本文学科100周年を迎える



- P1 カリキュラムと取得できる資格
- P2 教員の研究と授業紹介
- P4 日文の四年間
- P6 就職状況とキャリア支援
- P7 卒業生の声
- P8 日文でのコロナ禍対応
- P9 学科長からのメッセージ

# 「ことば」の力を 将来に活かす

## コース制による学び

日本の言語文化を学ぶことは、日本文化を理解し、それを伝え発信していくための方法を身につけることです。日本の言語文化に対する深い知識とことばの力を通して、ものごとの本質を見る確かな目と、社会の幅広い分野でグローバルに活躍できる素地を養います。

### カリキュラム概説

1年次は基礎科目が中心。2年次からはさらに学びの幅を広げながらコースを選びます。多様な専門科目が用意された中で、担当する専任教員が、コース選択から卒業論文制作にいたるまで、きめ細やかに指導します。

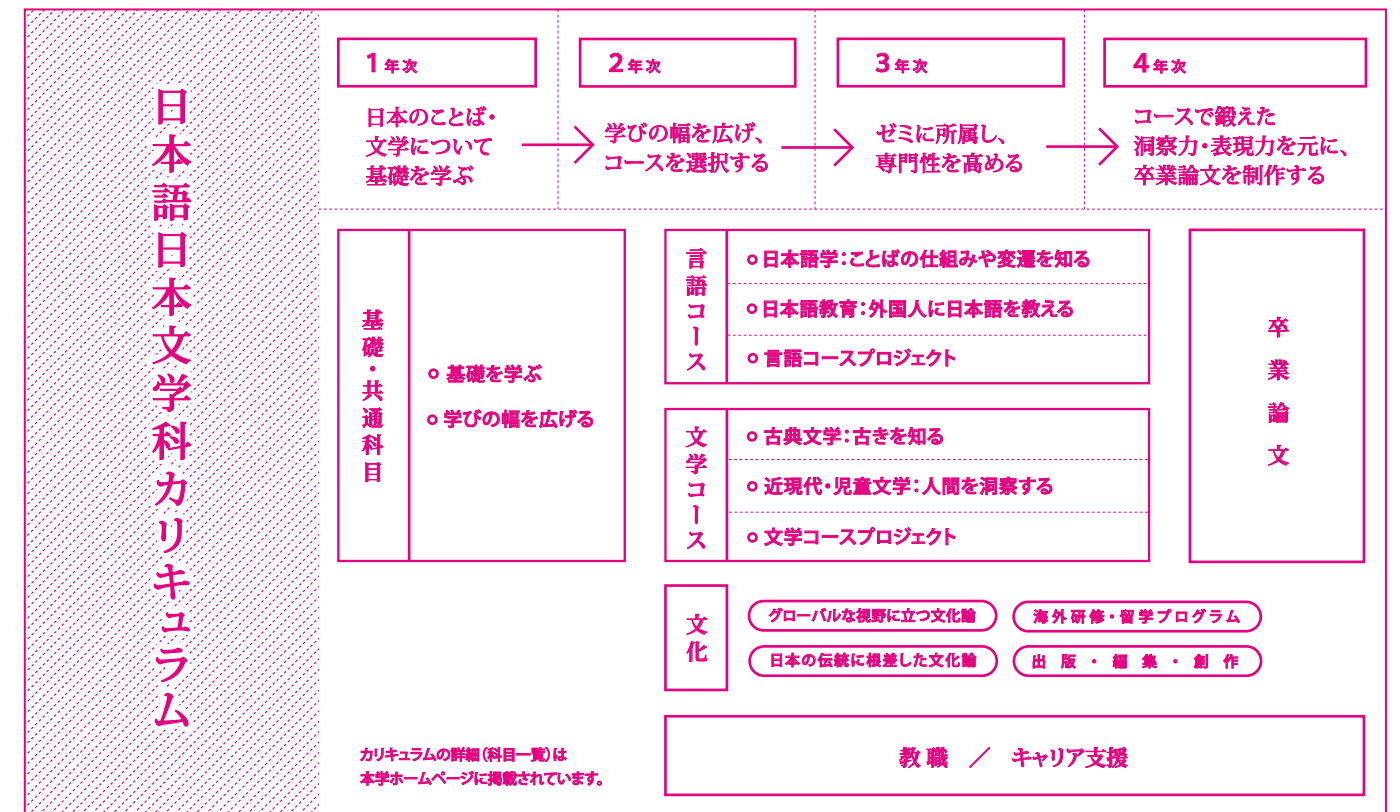
#### ○言語コース

ことばの仕組みや変遷を観察する「日本語学」、日本語を母語としない人に日本語を教えるための「日本語教育」。言語文化に対する理解を深める。

#### ○文学コース

奈良から江戸時代の文学を学ぶ「古典文学」、明治から現代の文学を学ぶ「近現代文学」。作品の分析を通して人間の本質を探る。

コースの学びはプロジェクト科目で実践。多角的に日本を捉える文化科目や留学プログラムも用意しています。



### 取得できる資格

- 高等学校教諭一種(国語・書道)
- 中学校教諭一種(国語)
- 日本語教員(大学認定証)
- 図書館司書・司書教諭
- 博物館学芸員
- 社会福祉主事(任用資格)



## 教員の研究と授業紹介 学科の研究分野と授業についてピックアップして紹介します。



### 言語コース

#### 日本語教育 大場美和子准教授 研究紹介

日本母語話者と日本語学習者の会話の特徴を、実際の会話データを収録・文字化して分析し、日本語教育や異文化間理解教育への応用を考察しています。大学生の雑談から外国人介護人材の職場での会話まで、現代社会の実態を会話データから見えています。

#### 学生による授業紹介

##### 「日本語教育 I (会話データ分析)」

ことばには人と人との距離を調節する役割があります。友達と話す時、先輩と話す時、異性と話す時、同じことを伝える場合でも、ことばを選んだりしませんか？この授業では、何気ない日々の会話を掘り下げて、どう話すより良い関係を築くことができるか学ぶことができます。



福積愛



#### 日本語学 須永哲矢准教授 研究紹介

コンピュータも利用しながら、古典語から現代にいたるまでのことばや文法の変化を研究しています。高校までは暗記するだけの表だった動詞の活用も、なぜこの形なのか、なぜこの種類なのか、研究対象としてみると「なぜ」は尽きません。

#### 学生による授業紹介

##### 「現代語文法」

正しい日本語を学ぶのではなく、現在の日本語がなぜ今のような形になったのかを学ぶことができる授業です。授業内で、一つの「なぜ」に対して様々な人が出した様々な考え方に触れ、「色々な側面から考えてみる」ということの面白さを知ることができました。



菊地志歩



### 文学コース

#### 近代文学 笹木美佳准教授 研究紹介

研究の出発点は夏目漱石でした。今でも関心を持ち続けています。現在は遠藤周作を中心に、世田谷との関係と、遠藤文学における女性の二本立てで研究しています。フランス文学やキリスト教など、日本文学の枠にとどまらないところに魅力を感じています。

#### 学生による授業紹介

##### 「日本文学 II (近代C・遠藤周作)」

作品の精読により作家の本質や宗教観を読み解いていく授業です。宗教は全ての人にとって身近なものであるとは言えません。しかし、急速に情報化が進み、便利になった一方で、多くの複雑な状況を抱える現代社会だからこそ、作家の宗教観を通して文学の意義を感じることができます。



上條紗英



#### 古典文学 山本晶子教授 研究紹介

日本の伝統芸能である能楽、特に狂言を中心に研究しています。現在は伊勢市の馬瀬狂言を取り上げ、地域に伝わる資料の調査・研究を通して、狂言の変遷やその技芸を伝承する仕組みを探っています。こうした調査を重ね、日本の伝統文化の特質を考えます。

#### 学生による授業紹介

##### 「日本の演劇」

前期は能、後期は狂言の、歴史や魅力を学ぶことができます。毎回の授業で動画を鑑賞するので、回を重ねるごとに、能や狂言に対する理解が深まり、生の演技を見たいと思うようになります。伝統芸能を通じて日本の文化を学びたい人にはお勧めです。



吉岡真由

## 専任教員の分野と主な科目名 (2021年度所属教員)

### 言語コース

日本語学		須永哲矢	現代語文法、文法・実例研究
		嶺田明美	音声と音韻、日本語研究とコンピュータ
日本語教育		西川寿美	第二言語習得論、対照言語(日英)
		横山紀子	日本語教育特殊研究(院)
		近藤彩	日本語教育入門
		大場美和子	会話データ分析、社会言語学
		植松容子	日本語文法論、日本語指導実践

### 文学コース

上代文学		烏谷知子	古典と昔語り、古事記
中古文学		胡秀敏	源氏物語、世界の中の日本文学
中古・中世文学		丹下暖子	平家物語、歌ことば歌ごころ
中世文学		山本晶子	日本の演劇、宇治拾遺物語
近現代文学		吉田昌志	文学と美術、日本文学入門
		笹木美佳	子どもの風景、遠藤周作
		山田夏樹	世界の中の日本文学、日本文学史(近代)
児童文学		福田委千代	児童文学の近代、子どもと読む詩
中国文学		市川清史	中国文学入門、中国文学(詩文)
教育学		青木幸子	国語科教育法、創作(エッセイ・シナリオ)
図書館学		田中均	図書館概論、情報資源組織論
		池田美千絵	生涯学習概論、児童サービス論

## 客員教授

黛まどか	俳人
冷泉為人	冷泉家時雨亭文庫理事長



言語と文学の学びを土台としてコースを選択し、4年間を通して「ことば」の力と洞察力を鍛えます。

### 言語と文学の基礎を学ぶ

まずは必修科目を中心に、日本語・日本文学の基礎を学びます。言語と文学をバランスよく学ぶことで、新たな興味を見出すこともあります。2年間、幅広く学んで、時には迷いながら、じっくりと専門分野を決めます。



コースの選択は2年次後期



### コースを選択する

さて、いよいよ2年次の終わりにコースを選択します。ゼミ説明会では、ゼミに所属する3, 4年生の先輩から話を聞くことができます。コース選択の際にはゼミ希望調査が行われ、学びたい分野を選ぶことができます。

発表と質疑応答でプレゼン力が磨かれます



### ゼミに所属 専門性を高める

ゼミに所属して、興味のある分野の学びをさらに深めていきます。各自の興味により絞り込んだテーマに基づいて調査する・まとめる・発表するを通して、ものごとを多角的に検討するための基礎を身につけます。

4年間の学びの集大成



### 卒業論文を制作する

これまでの学びをもとにテーマを定め、問いを立て、多角的に検討しながら卒業論文を制作します。専門分野が決まっても、1・2年次に幅広く言語と文学の基礎を学んだという土台があるからこそ、深い考察が可能となります。

## 1年次



### 学びの幅を広げる

興味がある分野の選択科目を履修して学びの幅を広げます。どの科目においても「原典を自分の目で確かめる」という研究の基本を実践します。本学図書館には貴重資料も充実しているので、文学作品の原典を閲覧することも可能です。



海外留学の時期は2年次を選ぶ人が多いです



## 2年次



### 海外にはばたく

留学では、外国語を身につけるだけでなく、自文化と他文化に客観的に向き合う姿勢が養われます。また、キャンパスの隣にはTUJ(テンプレ大学ジャパンキャンパス)があり、海外に出ずとも活発な交流をすることができます。

## 3年次

### 文化を多角的に捉え直す

文化に関する科目も選択必修です。語学であれ語学であれ、それらは日本文化と密接に関連しています。文化科目を学ぶことで視野を広げるとともに、専門の学びをさらに深めていくことにつながります。



## 4年次

### 学び⇄実践 プロジェクト科目

日文的学びが社会にどのように貢献できるかを考え、実践する科目です。児童文学プロジェクトや百人一首のプロジェクトがあります。見えないニーズを探り出し、失敗を恐れずに課題解決に取り組む姿勢が培われます。



仲間と協力しあい成果を見える形に



### ▼ 欄外詳説

1・2年次は言語と文学の基礎を幅広く学びます。「入学時には近代文学に興味を持っていたが、入学後は古典文学の面白さに夢中になった」等、日文的学びを通して新たな興味に出会うことも多いようです。文学・言語の学びのみならず、文化科目も充実しています。グローバルな視野に立つ文化論(「サブカルチャー論」

等)、日本の伝統に根差した文化論(「歌ことば歌ごころ」等)で文化を多角的に捉えます。2年間、多様な授業を通して視野を広げながら自分の興味を時間をかけて見極め、2年次後期にコースを選択します。

留学プログラムも短期長期ともに充実しています。海外に出ることで日本文化や日本語を客観的に捉える視点が養われます。また、世田谷キャンパスの隣にTUJ(テンプレ大学ジャパンキャンパス)があり、国内にいながら

にして、異文化にふれるチャンスが多いという点も特徴的です。TUJの日本語学科との連携により、双方の授業に学生が参加して意見交換を行ったり、授業外に特別講座を開いたりして、交流しています。

3・4年次はゼミに所属して、仲間と切磋琢磨しながら専門を探究していきます。また、日文的学びをもとにどのような社会貢献が可能かを考える「プロジェクト科目」では、学んだ知識をもとに、学外に様々な形で発信

します。社会の隠れたニーズを探り出し、それを日文的学びで解決するという作業は、思った以上に困難で、初めはなかなかうまくいきません。しかし、その「うまくいかない過程」を経験し、その壁をどう乗り越えるか仲間とともに試行錯誤する、これこそが社会で生きていくためのかけがえのない力となっていきます。このように、日本語日本文学科での4年間を通して得られた学びは、卒業後のキャリアを支える確実な礎となります。

### ① キャリアの選択肢を広げる資格取得

教員免許は国語教員(中学、高校)とあわせて書道教員免許(高校)も取得可能であり、そのための書道関連科目も充実しています。また、所定の単位を修得すると、大学認定の日本語教員認定証が取得できます。その他にも図書館司書や司書教諭、学芸員に加え、文書情報管理士2級の資格取得を目指すことができます。多様な資格取得の可能性が、キャリア選択の幅を広げます。

### ② 学生が自ら企画・運営する活動

日文中では学生主体の活動が盛んです。例えば、プロジェクト科目の一つである「児童文学プロジェクト」では、昭和こども園での読み聞かせ活動を行ったり、絵本を紹介するリーフレットを作成したりしています。その他にも日文的学生のためのキャリア支援を考える日文キャリア委員(p.6参照)、TUJの学生と日文的の学生との交流を推進するためのTUJ交流企画運営委員などがあります。

### ③ 教室の枠を超えた学び

海外の大学とオンラインでつなぎ、教室の枠を超えた学びを実践しています。「中・短編小説を読む」ではフィレンツェ大学と合同で一つの文学作品を読んでディスカッションを実施しました。また、「日本語文法論」では北京郵電大学と合同で、日本語学習者の誤用から日本語を考える授業を行いました。海外の日本語学習者とのアカデミックな交流を通し、多角的な思考力を鍛えます。

もう少し詳説▼

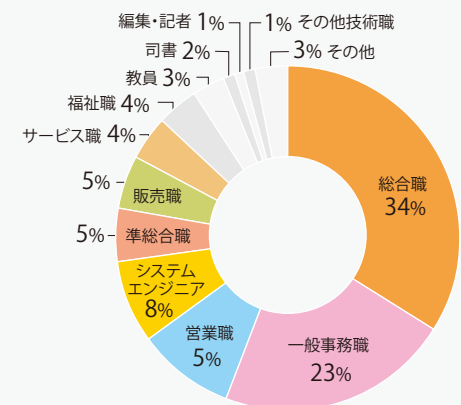


「ことば」の力が切り拓く未来



## 多様な職種で活かされる日文での学び

日文で学んだ卒業生の進路は多様です。在学中に学んだことを活かして、さまざまな分野で活躍しています。たとえば国語や書道の教員、日本語教師などは専門性が直接進路に結びついています。一般企業においても、ことばの力やコミュニケーション力、洞察力は不可欠であり、総合職やSEなどの分野においても日文の卒業生が活躍しています。さらに、これからの国際社会では、自国の文化を理解する人材がますます必要とされてくるでしょう。多くの卒業生にとって、日文での学びが実社会で生きる力となっていることを確信しています。



**就職先の一例** ※データは2020年度分  
**システムエンジニア** ▶ 東計電算、三井E&Sシステム技研 教員 ▶ 東京都、神奈川県横浜市 **総合職** ▶ 愛眼、アウトソーシング、がん研究会、北つくば農業協同組合、重松製作所、昭和信用金庫、進研アド、総合警備保障、千葉県信用保証協会、中央労働金庫、日本ハムマーケティング、マツモトキヨシホールディングス、武蔵野銀行 **準総合職** ▶ あいおいニッセイ同和損害保険、清水建設、千葉銀行、明治安田生命保険、ユニクロ **営業職** ▶ 住友生命保険、第一生命保険、トヨタモビリティ東京、日本生命保険 **サービス職** ▶ パナソニック **一般事務職** ▶ NEC キャピタルソリューション、栗田工業、佐川急便、住商グローバル・ロジスティクス、住商建物、西武信用金庫、戸田中央医科グループ、日本調剤、三菱ケミカル物流 **公務員** ▶ 東京都大田区、埼玉県杉戸町、栃木県那須烏山町 **進学** ▶ 宮城教育大学大学院、法政大学大学院、昭和女子大学大学院

## 日文ならではのキャリア・サポート

大学全体のキャリア支援に加え、学科の特性に沿ったサポート講座を実施。

### 日文キャリア支援科目

「スピーチトレーニング各論」「文章トレーニング各論」「ICT機器の操作」など、就職活動だけでなく将来にわたって役立つスキルを学べる科目の他に、学年の状況に応じてプロの外部講師を招く講座も開いています。

### 一般企業志望者向けのサポート講座

一般企業をめざす学生には、3年次に、企業の入社試験で使われるSPI能力試験の対策講座、面接を想定した自己表現を磨く講座、内定を得た4年生の就職活動体験を聞く機会などを設け、具体的なアプローチの方法を学べるように支援しています。

### 教員志望者向けのサポート講座

国語教員や日本語教員をめざす学生には、教育現場にいる卒業生を招いて教職座談会を開き、在学中の勉強方法、実習や採用試験の対策の他、現場の具体的な体験を聞く機会を設けています。3年の学年末には、目前に迫った教育実習の対策講座も実施しています。

### 学生主催キャリア支援講座

「キャリアについて皆で考え行動する機会を増やしたい」、そんな思いから学生自らが実行委員を発足させ今年で4年目を迎えました。活動の中心であるキャリア支援講座は、年に2回開催しています。内容の選定に始まり、交渉・打合せ・当日の運営など、すべて学生実行委員を主体に進めています。委員にとっても、社会の第一線で働く身近なロールモデルに接することのできる貴重な機会です。



越智日和 (4年・学生実行委員)

日文キャリア委員は、日文の学生に必要とされるキャリア講座を、学生主体で企画・運営する委員会です。例えば、日文の学生が関心を持つ業界で働く卒業生を招いて仕事について語ってもらったり、内定者座談会を開催し、4年生に就職活動の実際やアドバイスなどについて聞いたりする機会を設けています。キャリア委員の活動を通して、企画を楽しむ中で自然と視野が広がるのに加え、学年を超えた交流も生まれました。

**馬場あき子**  
 歌人  
 朝日新聞歌壇選者  
 歌誌「かりん」発行

私がいま一番楽しくやっている仕事は選歌です。朝日新聞歌壇には毎週2500通くらいの投稿があり、短歌を通して「いま」を生きている人の心にじかにふれることができます。戦後というきびしい時代の中で日本文学を志した私には、古典和歌や近代以降の詩歌のことばの美しさ、やさしさ、簡素で奥深い表現への憧れがあり、短歌を作るようになりました。皆さんの知る日本語は美しいです。生きて愛し、時に寂しく、時に哀しい心を感じる。ことばのふしぎを発見したいと思いませんか。(1948年卒)

**渡辺みな**  
 株式会社ユニクロ

ゼミで本を読み解き、レジュメにまとめる中で得た、理論的に話を組み立てる力は、就職活動にも役立ったと思います。(2021年卒/専攻:近代文学) **新卒**

**中垣理子**  
 世田谷文学館  
 学芸員・学芸部部長補佐

専門分野を生かし、文学館で学芸員として勤務しています。(1989年卒/専攻:近代文学)

**米田夏穂**  
 花市場

同じ授業だった留学生と親しくなったのがきっかけで、韓国に興味を持ち、留学しました。現在は韓国企業で働いています。(2005年卒/専攻:日本語学)

**木齊董**  
 東京都中学校教員

中高時代の恩師に憧れ、教師になるという夢を持ちました。中学校における授業づくりでは、大学で学んだことを基礎に、生徒に分かりやすく教えられるよう日々工夫をしています。(2021年卒/専攻:古典文学) **新卒**

**塩塚雅子**  
 SALESROBOTICS株式会社  
 IT BASE本部 開発チーム

教職課程の履修を通して、他者にどのように伝えたら自分の意図が伝わるかを常に意識するようになり、SEの仕事にも役立っています。(2019年卒/専攻:日本語教育)

**木村葉子**  
 毎日新聞社  
 採用・研修センター採用担当副部長

30年前、新聞記者を目指す女子大生は少数でした。学内に志望者がほとんどいない中、毎日新聞社出身の先生方が作文の添削や時事問題などを、授業外で教えてくださいました。専攻した児童文学関連の取材をしたいと学び続け、社内外で「子どもの図書専門家」と認められたのも、恩師のおかげです。教員免許と司書の資格は、小学生新聞や子ども向け月刊誌、NIE (Newspaper in Education、教育に新聞を) 活動で役立ちました。小学校から大学まで、100校以上でNIEの授業をしました。現在は新人の採用や研修に携わっています。大学で身につけたことば遣いやマナーなどを、若手に伝えていきます。(1990年卒/専攻:児童文学)

たった4名から始まった  
**日本語日本文学科の卒業生数は、**  
**101年を迎えた今**  
**総勢9,161名となり、**  
**各界で活躍しています。**

**早川絵梨**  
 東京国税局

在学中にことばの仕組みや表現方法を身につけることができました。法律の内容や解釈は難しいですが、わかりやすいことばに言い換える等して納税者の方に理解してもらえよう努めています。(2013年卒/専攻:日本語学)

**外口楓**  
 日本語教師

初めて教育実習でインドネシアに行った際、自分の中で日本語教師としての可能性が広がったような気がしました。現在は大学での学びとその経験を活かし、日本の日本語学校で働いています。インドネシアとはご縁があり、コロナが落ち着き次第、日本語教師としてJICAで派遣される予定です。(2019年卒/専攻:日本語教育)

**山内奈穂**  
 三菱ケミカル物流株式会社

様々な業界でのインターンシップを経て、生活を支える物流の役割に気付きました。(2021年卒/専攻:児童文学) **新卒**

**佐藤万琳**  
 (株)熊谷組

日本語教育で身につけたコミュニケーション能力は、幅広い年代の方と接することが求められる環境においても、とても役立っています。(2018年卒/専攻:日本語教育)

**門間美莉彩**  
 トヨタモビリティ東京株式会社

日々のアルバイトを通じて、お客様と長くお付き合いすることになる車という商材を扱う仕事に就きたいと考えようになりました。さまざまなことに挑戦した大学時代の経験が就職活動に大いに役立ちました。(2021年卒/専攻:近代文学) **新卒**



コロナ禍の現在、新しい生活様式の一環として、対面授業に加え、Zoom等を用いたオンライン授業も実施しています。

古典文学の授業では、通常、図書館が所蔵する江戸時代以前の写本や版本を実際に手に取る機会を設けていますが、オンライン授業が中心となった2020年度は、各所蔵機関がホームページで公開している古典籍の画像を画面共有しながら授業しました。画像を拡大しながらの解説は、学生にも好評でした。



## オープンキャンパス

大学生活や学科の雰囲気など、受験生の疑問・質問にアドバイザー(在学生)が答えます。

### 開催日程

- 06/20(日)
- 07/11(日)
- 08/21(土)

最新情報はウェブページでご確認ください。※日時・場所とも変更の可能性があります。



## 第9回 日文公開講座

「カルチャーとしての文学—音楽・芸能・笑い」

矢野利裕(批評家・DJ)  
山田夏樹(昭和女子大学専任講師)

日時: 10/2(土)14:00~15:30  
会場: オンライン及びリアル会場 (昭和女子大学8号館6階) (コスモスホール[6L41])  
※日時・会場ともに変更の可能性があります。  
最新情報はウェブページでご確認ください。



遙か昔、日本人が文字を獲得して以来、多くの書物や手紙などが書かれてきました。我々もそれを、いろいろな形で目にできます。いつの時代の人々も、さまざまな記録をし、また、現代の我々と同じように、季節を感じ、人を恋しいと思ひ、人との別れを悲しんできたのです。一方で、新しい概念が生まれ、技術が進歩し、それに伴って我々の感覚や使うことばも日々変化してきました。

我々が、ことばを使わない日はありません。読む・書く・話す・聞く以外にも、たとえば、考え、受けとめるときに、頭の中ではことばが使われているのではないのでしょうか。どのような場面においても必要なもの、それがことばなのです。

人はひとりひとりが違う存在で、家族・地域をはじめ、それぞれが異なる文化・背景を持っています。国を越えた大きな単位の異文化の人との交流も、今や、ふつうのことです。お互いを理解する力を持たなければ人との交流はなり立たず、ことばだけ使えばいいというものではありません。そこにはものごとを深くとらえる力と誠意ある表現が必要でしょう。

日本語日本文学科では、言語や文学を学ぶことを通して、洞察力や理解力を深め、人間の本質とは何かを常に問い続けます。変わらないことと変わること、同質と異質など、事象現象の両側面をきちんと理解し、あふれる情報にふりまわされず、しっかりとした考えに裏付けされたことばで人に伝える力を持ちたい、そのような人の入学をお待ちしています。

日本語日本文学科 学科長

額田明美



<https://swuhp.swu.ac.jp/university/nichibun>

日文での学びについて伝えたいことがもっとあります。  
日文ウェブサイトをご覧ください。

昭和女子大学 人間文化学部 日本語日本文学科  
SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

入試に関するお問い合わせ アドミッションセンター Phone 03-3411-5154 E-mail spass@swu.ac.jp  
〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57